

# 旭労災病院ニュース

病院情報誌 第40号 平成21年3月1日発行

発行所：旭労災病院

〒488-8885

尾張旭市平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.rofuku.go.jp/>

## 発達支援外来開設のお知らせ

小児科部長 安藤 郁子



平成21年4月より、院内で心理職による発達・知能テストができるようになり、発達障害が疑われるお子さんの診断や支援体制がより充実することになりました。また併せて、尾張旭市の健康福祉課や子育て支援室などとも連携をとり、言葉の遅れや、落ち着きが無い、キレやすい、集団に入れないなどの、発達の遅れやゆがみのあるお子さんと親御さんにむけて、支援する体制作りをしていこうと思っています。お子さんの発達に関するご相談があればご活用頂ければと思います。

発達支援外来：毎週火曜日 14:00～

発達・知能テスト：毎週木曜日 9:00～16:00

すべて予約制となります。事前に外来にお電話でのご予約お願い致します。

## 水曜休診のお知らせ

平成21年4月から小児科常勤医が安藤一人になります。平日昼間の診療体制は非常勤や代務などの先生方に手伝って頂き、極力従来通りの診療体制を維持しようと思っておりますが、やむなく水曜日の外来は予約再診のみとし、一般外来は休診させて頂くことにしました。ご紹介患者様に関しては出来るだけ今までどおりに対応したいとは思いますが、ご配慮の程、よろしくお願い申し上げます。

# 花粉症の話

眼科部長 玉置 力也



花粉症の季節です。花粉症のアレルギー性結膜炎で生じる、かゆい、充血する、目やにが出る、涙が出る、まぶたが腫れる、目がゴロゴロする、などの症状を抑えるにはどうすればよいでしょうか。

花粉症はご存知の通りスギ花粉などの花粉がアレルゲンとなり生じるアレルギーです。花粉症の症状を抑えるにはできるだけ花粉に接触しないことです。ゴーグル型の眼鏡や花粉防止用のマスクの着用が最も効果的です。マスクを着用している方はよく見かけますが、花粉防止用の眼鏡を使っている方はあまり見かけません。美容上問題があると思いますが、目の症状が強い方にはとても効果あります。また、コンタクトレンズの装用はアレルギー性結膜炎を悪化させるのでよくありません。

薬物治療としては抗アレルギー点眼剤が主に使われます。かゆみなどの症状が強いときはステロイド点眼剤を追加します。ステロイドは症状を抑える効果は強いのですが副作用として眼圧上昇や白内障を起こすことがあるので、眼科医の診察のもと注意深く使う必要があります。抗アレルギー点眼剤はかゆみなどの自覚症状が出現する前に開始することで、症状の出現を予防したり軽くしたりすることができます。抗アレルギー内服薬を花粉の飛散が始まる2週間ほど前から投与しておき症状を軽くするといった方法は一般的になっているようですが、点眼剤でも同じような効果があるのです。今年のスギ花粉の飛散はすでに始まっていますが、今のうちに患者さんに知らせておくと来年は花粉の飛散前に処方できるかもしれません。

